

日野江城跡などを視察

パチカンのユネスコ大使



長崎の教会群とキリスト教関連遺産の世界遺産本登録に向けて、11月6日にパチカンの駐ユネスコ大使フランチェスコ・フォロ氏が日野江城跡、原城跡などを視察しました。フォロ大使の現地視察により本市の構成資産の価値が理解され、さらなるパチカンからの支援に向けてアピールしました。

有馬キリシタン遺産記念館

来場者1万人達成!!



今年4月4日にオープンした、有馬キリシタン遺産記念館が11月5日に来場者1万人を達成しました。

記念すべき1万人目は、小値賀町にお住いの中川廣子さん。老人会の研修で記念館を訪られた中川さんには高田副市長から花束と記念品が贈呈されました。

南島原から



世界遺産を



11月8、9日にセミナーの再現授業を実施し、市内の中学生13人が430年前の戦国時代、日本人が初めて体験したセミナーの授業を体験しました。セミナーは、ヨーロッパの教育課程を導入。全寮制で、午前5時30分起床、食事は1日2回など、当時の日本人の生活にも配慮した内容となっていることから、この時の少年たちと同じ日程で授業を進行しました。

今回授業を受けた生徒の中から4人が、来月イタリアに派遣されます。

400年前のセミナー授業を再現 中学生がチャレンジ



11月3日、北有馬ピロティー文化センター日野江で「島原の乱」をテーマにした講演会が南島原市世界遺産市民協働会議主催で開催され、市内外から約450人の皆さんが来場しました。

講師には歴史家で作家の加来耕三さんを迎え、島原の乱の背景や乱を取り巻く幕府の思惑など、あらたな視点からの切り口、歴史を生かした地域振興策に熱弁を振るわれました。

島原の乱をテーマに

世界遺産登録推進講演会開催

復興への



東日本大震災災害派遣レポート

南島原市災害派遣職員 林 田 昭 義

Vol.31



4年ぶり開催された南三陸町産業フェア

10月26日、暖かい秋晴れの中、地元海産物などの特産品を販売する「南三陸町産業フェア」が南三陸町役場駐車場で開催されました。志津川町と歌津町の合併以降毎年開催されていた産業フェアですが、震災以降は開催を中止していました。今回は4年ぶりの開催となり町内外からのたくさんの人でにぎわいました。会場では町の特産品である鮭を使った

サケ汁（鮭の切り身と季節の野菜が入ったお味噌汁）が振る舞われ、長い行列ができていました。その他の店頭では、イクラでお腹がパンパンになった鮭が市場価格より割安で販売されたり、蒸し焼きやホタテ焼きも販売され、水産物が豊富な町ならではの産品が販売されていました。町の基幹産業である水産業は、津波の影響で漁船やかきやホタテ、銀鮭などの養殖棚のほとんどが流され、市場や水産加工施設なども壊滅的な被害を受けました。震災後1年が過ぎたところには仮設の魚市場や水産加工場が整備され、私が赴任した平成24年4月ごろにはほとんど見かけなかった



養殖棚も、今では海岸付近から沖の方までいろんな種類の棚が並び、復興が進みつつあります。しかし、その道のりは順調ではなく、再び漁獲に至るまで大変苦労された聞き、苦しい思いをした分だけ今回の産業フェアの成功は喜びもひとしおと思いました。今回の産業フェアで最も盛り上がったのは、長い巻き寿司作りでした。来場者やスタッフ、佐藤町長も飛び入りで参加して、約150人で、260枚のすのこの上に長さ70メートルの1枚のり、そしてすし飯をのせ、慎重にすのこの巻き70メートルの長いのりが完成しました。ちなみにのり巻の具は南三陸町のイクラの醤油漬けでした。

教えて!国民年金 受給資格期間



年金を受ける場合は、保険料を納めた期間や加入者であった期間などの合計が一定年数以上必要です。この年金を受けるために必要な加入期間を受給資格期間といいます。

わが国の公的年金では、全ての人に支給される老齢基礎年金の受給資格期間である「25年間」が基本になります。国民年金だけではなく、厚生年金や共済組合などの加入期間も全て含まれます。また、保険料が免除された期間も受給資格期間に反映されます。

日本年金機構 早期年金事務所 ☎0957(25)1662
南島原市保険年金課 ☎050(3381)5039 または 各支所